
LINEに書くだけで、 顧客台帳が毎日そろう

AIエージェントの動き方の一例（見本：架空の塗装会社）

株式会社SeKnAck

見本の会社・お客様・金額は架空です

連絡はLINEに集まるのに台帳は手入力のままなので、止まった案件ほど誰にも気づかれない

LINEで連絡し、台帳は手で付けている会社で起きること（見本の会社の例）

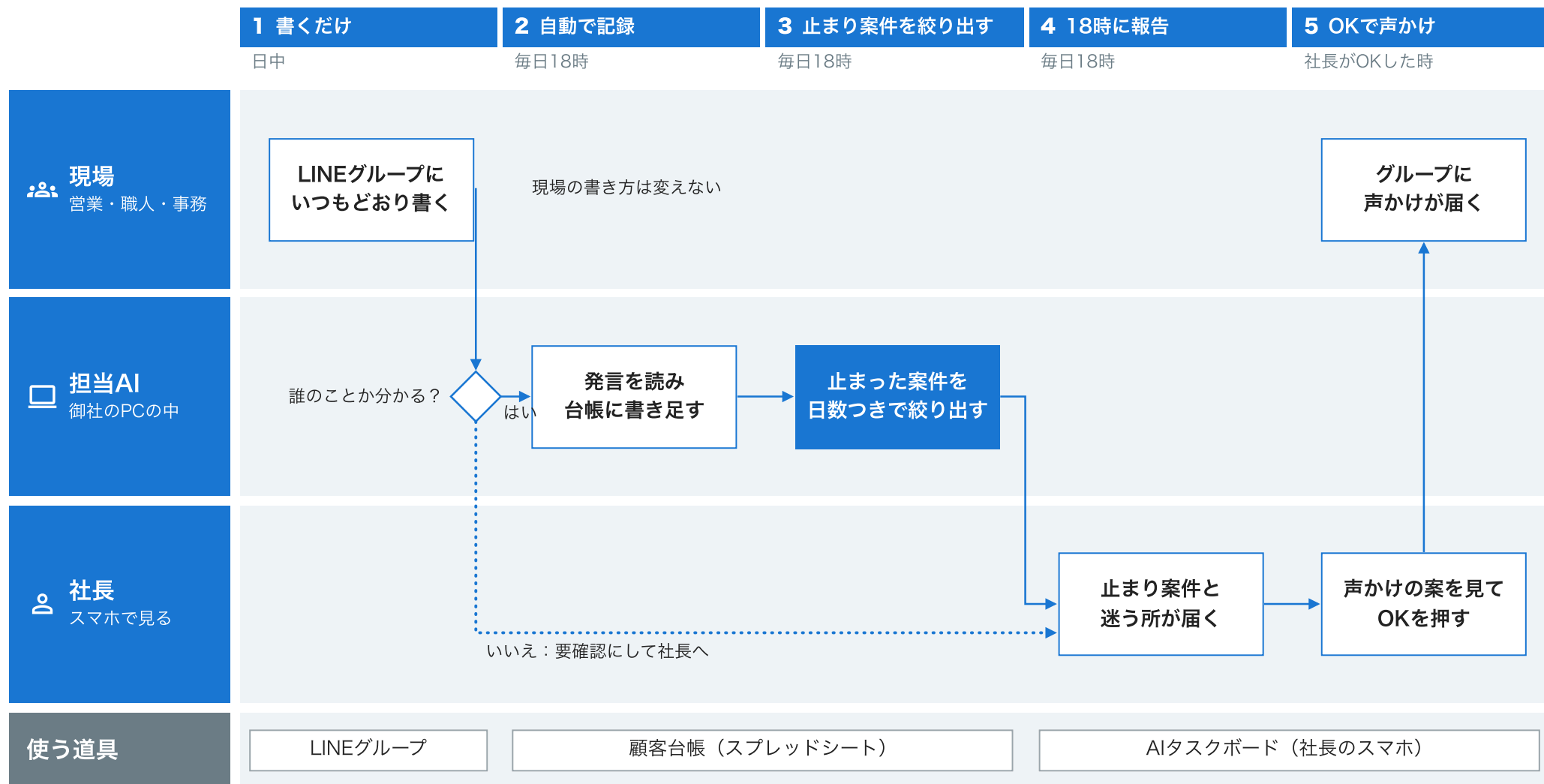
	1 報告はLINEグループに流れて消える	2 台帳への書き写しは後回しになる	3 止まった案件に誰も気づかない									
起きていること	■ 受注や失注の報告も、雑談や段取りの連絡と一緒に流れていく	■ 台帳に写すのは、仕事の合間に誰かが手で行うしかない	■ 現調や見積のまま止まった案件ほど、台帳の上では何も起きていないように見える									
	佐々木（営業） 伊藤様、他社さんに決めたそうです。 失注です	<table><tr><th>お客様</th><th>台帳の状況</th><th>LINEの報告</th></tr><tr><td>伊藤様</td><td>見積済 のまま</td><td>失注</td></tr><tr><td>井上様</td><td>受注 のまま</td><td>完工</td></tr></table>	お客様	台帳の状況	LINEの報告	伊藤様	見積済 のまま	失注	井上様	受注 のまま	完工	■ 現調のあと、見積が出ていない
	お客様	台帳の状況	LINEの報告									
	伊藤様	見積済 のまま	失注									
井上様	受注 のまま	完工										
工藤（事務） 塗料届きました。倉庫に入れてあります		■ 見積のあと、お返事が止まっている										
工藤（事務） 井上様邸 完工しました。お引き渡しも済みました		■ 現調の予定日が過ぎている										
佐々木（営業） 了解です												
そのため	➤ 台帳に写すはずの報告が、毎日グループの中を流れていく	➤ 台帳の状況が、LINEで報告された中身より遅れたままになる	➤ 止まった案件ほど、誰にも気づかれない									

注：1の発言は見本のLINEグループの記録、2の台帳の状況はAIが直す前の台帳の写しから載せています

現場の書き方は変えず、記録と見張りと報告をAIが引き受ける

LINE台帳の1日の流れ（見本：架空の塗装会社）

— 実線：毎日の流れ 点線：迷った時 ◇ ひし形：判定 ■ 主役の仕事



注：番号は次のページから説明する順。18時は見本での報告の時刻で、御社に合わせて変えられます。誰のことか分からない発言は台帳に書かず、社長に聞きます

出所：見本の作業場の「台帳の決まり」と担当AIの手順（見本の場合は架空）

現場は今までどおり、受注も失注も作業報告もLINEグループに書くだけでよい

LINEグループの発言（左）と、台帳に入る物・入らない物（右。見本の会社の「台帳の決まり」）

く あおば塗装 現場連絡（6）

LINEグループ（イメージ）

10月13日（火）

村

村上（職人）

吉田様邸、中塗りまで終わりました 08:05

台帳へ

佐

佐々木（営業）

電話お問い合わせ／チラシ反響／田中様／みどり市若葉町／外壁の色あせ／@佐々木 10/16 10時 現調 08:12

台帳へ

佐

佐々木（営業）

佐藤様 外壁 受注しました 128万 11:10

台帳へ

工

工藤（事務）

井上様邸 完工しました。お引き渡しも済みました 13:30

台帳へ

大

大野（職人）

明日の集合8時をお願いします 13:40

入らない

佐

佐々木（営業）

伊藤様、他社さんに決めたそうです。失注です 14:10

台帳へ

台帳に入る物	入らない物
■ 新しいお客様 ➢ お客様・地区・経路・工事・担当	■ 雑談・あいさつ・返事 ➢ 「了解です」「お疲れさまです」
■ 現調の日・見積・受注・失注 ➢ 状況と日付・金額	■ 段取り・これからの予定 ➢ 集合の時刻、天気、塗料の納品
■ 済んだ作業の報告 ➢ 工事中・完工と、終わった工程	■ お客様の電話番号 ➢ グループに書かれていても写さない

この日の発言は 41件。台帳に入ったのは新しいお客様3件と、動きのあったお客様9件でした

注：発言は見本のLINEグループの記録から、時刻・名前・本文をそのまま載せています

担当AIが毎日その日の発言を読み、台帳に書き足して直すので、 転記の手間がなくなる

台帳で変わった行（新しく3行・更新9行。直す前の写しと、直した後の台帳を比べた物）

 新しい行 変わった行 直す前に無かった行

番号・お客様（地区）	直す前（写し・28行）		直した後（31行）
29 田中様（若葉町）	（台帳に無い）	→	現調予定・現調 10/16・佐々木・「現調 10時／外壁の色あせ」
30 高橋様（青葉台）	（台帳に無い）	→	問い合わせ・「加藤様のご紹介／担当未定（折り返しは小松）／現調の日は調整中」
31 山口様（南町）	（台帳に無い）	→	問い合わせ・佐々木・「外壁のひび割れ」
1 加藤様（本町）	受注・「10月中旬から着工」	→	工事中・「高圧洗浄済」
2 吉田様（東町）	受注	→	工事中・「中塗り済」
5 井上様（青葉台）	受注	→	完工・「10/13 お引き渡し」
12 佐藤様（若葉町）	見積済	→	受注
14 伊藤様（青葉台）	見積済・「他社と比べている」	→	失注・「他社に決定」
17 前田様（本町）	受注	→	工事中・「10/13 着工（足場）」
18 中村様（北町）	現調済	→	見積済・940,000円
24 渡辺様（桜ヶ丘）	問い合わせ	→	現調予定・現調 10/17・「現調 14時」
25 斎藤様（緑ヶ丘）	問い合わせ	→	現調予定・現調 10/20・「現調 10時」

3 止まり案件を絞り出す

現調後の見積なし、見積後の返事なし、現調日の過ぎた案件を、AIが日数つきで絞り出す

止まっている案件 6件と止まった段（10月13日時点。棒は日数、0～35日の共通目盛）

通った段 止まっている日数

	問い合わせ	現調予定	現調済	見積済	受注・失注	担当
止まりの決め方		予定日を過ぎた	現調から7日以上	見積から14日以上		
山田様（西町） 現調予定 9/24 から		19日				小松
橋本様（桜ヶ丘） 現調予定 9/25 から		18日				佐々木
林様（緑ヶ丘） 現調 9/10 から			33日			佐々木
岡田様（西町） 現調 9/22 から			21日			小松
木下様（桜ヶ丘） 見積 9/15 から				28日		佐々木
山崎様（東町） 見積 9/20 から				23日		佐々木

注：決め方は見本の会社の「台帳の決まり」。7日・14日は見本の決まりで、御社ごとに決め直せます

出所：見本の作業場で、担当AIが2026年10月13日分のLINEグループの発言を実際に処理した結果（見本の会社・お客様・金額は架空）

4 18時に報告

夕方6時に止まっている案件が社長のスマホに届き、 迷う所は押して選ぶだけで済む

社長のスマホに届く画面（AIタスクボード。押す順に1～3）

1 18時、台帳の報告が帯で出る

AIタスクボード

● 作業中 0/3 ● あなたの番 0 ● 起きている 0/8 最終更新 18:15

再読み込み

+ AIに仕事を頼む
(スキル=決まった仕事の手順)

LINE台帳

今日の台帳の報告 (18:00)

止まっている案件 6件・今日の記録 12件

すべて ほかのゴール

未着手
2

進行中
0

あなたの番
0

完了
0/1

ありません

看板の一番上に、止まっている案件の数と今日の記録の数が出る

2 押すと、止まっている案件の一覧

← 戻る 今日の報告 10/13 18:00

△ 止まっている案件 6件

現調後 見積なし 林様（緑ヶ丘）
現調 9/10から33日・佐々木

現調後 見積なし 岡田様（西町）
現調 9/22から21日・小松

見積後 返事なし 木下様（桜ヶ丘）
見積 9/15から28日・佐々木

見積後 返事なし 山崎様（東町）
見積 9/20から23日・佐々木

現調日が過ぎた 山田様（西町）
現調予定 9/24から19日・小松

現調日が過ぎた 橋本様（桜ヶ丘）
現調予定 9/25から18日・佐々木

グループに声かけ（案）を見る、

理由・お客様・日数・担当が並び、下から声かけの案へ進める

3 誰のことか迷う発言は、選ぶだけ

前田様 工事中、井上様 完工)

- 高橋様（30番）は担当が書かれていないため空にしました（折り返しは小松さん）

要確認 1件（答え済み）

「鈴木さん 来週の現調、木曜でOKもらいました」が、鈴木様（北町・7番）か鈴木様（南町・19番）か分かりません。来週の木曜は 10/22 です。
元の発言：10:42 小松（営業）

北町の鈴木様（7番）にしました

グループへの声かけ（案）

お疲れさまです。お客様の記録を見直していて、このところ連絡が途切れているお客様がいたので確認させてください。（日数は10/13時点で、最後に記録した日から数えています）

【佐々木さんのお客様】

- 林様（緑ヶ丘）：9/10 現地調査 → その後の記録なし（33日）
- 木下様（桜ヶ丘）：9/15 見積をお渡し → その後

同じ名字のお客様が2人いたため、AIは台帳に書かずに聞き、社長が「北町の鈴木様」を押した

注：3は社長が答えを押した後の画面です

出所：見本の作業場で撮影した社長のスマホの画面（見本の会社・お客様は架空）

担当への声かけはAIが下書きし、社長がOKした時だけグループに送られる

社長のスマホの画面（左）と、OKを押した後にLINEグループに届く声かけ（右）

1 社長のスマホ：声かけの案を見てOK

北町の鈴木様（7番）にしました

グループへの声かけ（案）

お疲れさまです。お客様の記録を見直していて、このところ連絡が途切れているお客様がいたので確認させてください。（日数は10/13時点で、最後に記録した日から数えています）

【佐々木さんのお客様】

- ・林様（緑ヶ丘）：9/10 現地調査 → その後の記録なし（33日）
- ・木下様（桜ヶ丘）：9/15 見積をお渡し → その後の記録なし（28日）
- ・山崎様（東町）：9/20 見積をお渡し → その後の記録なし（23日）
- ・橋本様（桜ヶ丘）：9/25 現地調査の予定 → その後の記録なし（18日）

【小松さんのお客様】

- ・岡田様（西町）：9/22 現地調査 → その後の記録なし（21日）
- ・山田様（西町）：9/24 現地調査の予定 → その後の記録なし（19日）

お手すきの時に、このグループへ今の様子を一言ください（例：「林様 見積は今週出します」「橋本様 10/20に延期」「木下様 返事待ち」）。もう済んでいる物は「済んでいます」で大丈夫です。記録はこちらで直します。よろしくお願いします。

グループに送りました（見本のため実際には送られません）

OKを押した
時だけ送る

拡大：LINEグループに届いた声かけ

く あおば塗装 現場連絡（6）

LINEグループ（イメージ）

お疲れさまです。お客様の記録を見直していて、このところ連絡が途切れているお客様がいたので確認させてください。（日数は10/13時点で、最後に記録した日から数えています）

【佐々木さんのお客様】

- ・林様（緑ヶ丘）：9/10 現地調査 → その後の記録なし（33日）
- ・木下様（桜ヶ丘）：9/15 見積をお渡し → その後の記録なし（28日）
- ・山崎様（東町）：9/20 見積をお渡し → その後の記録なし（23日）
- ・橋本様（桜ヶ丘）：9/25 現地調査の予定 → その後の記録なし（18日）

【小松さんのお客様】

- ・岡田様（西町）：9/22 現地調査 → その後の記録なし（21日）
- ・山田様（西町）：9/24 現地調査の予定 → その後の記録なし（19日）

お手すきの時に、このグループへ今の様子を一言ください（例：「林様 見積は今週出します」「橋本様 10/20に延期」「木下様 返事待ち」）。もう済んでいる物は「済んでいます」で大丈夫です。記録はこちらで直します。よろしくお願いします。

見本のため実際には送っていません

注：声かけの本文は担当AIが書いた案（送った記録）をそのまま載せています。責める言い方をせず、状況を教えてもらう書き方にしています

出所：見本の作業場で撮影した画面と、送った記録（見本の会社・お客様は架空）

LINEとスプレッドシートは一例で、 今お使いの道具と流れに合わせて作り直せる

今回の見本で使った物と、御社に合わせて置き換えられる物

□ 今回の例 ■ 置き換えられる物

	今回の例（見本）		置き換えられる物（例）
報告を書く所	LINEグループ	→	Slack・Chatwork・Teams・メール・日報アプリ
台帳	スプレッドシート（CSV）	→	Excel・Googleスプレッドシート・kintone・ 今お使いの管理ソフト
報告の時刻と届け先	毎日18時・社長のスマホ	→	朝礼の前・週1回・営業の責任者にも
止まりの決め方	現調から7日・見積から14日	→	御社の段取りに合わせた日数と項目

ここでお見せしたのは一例です。「ここをこう変えたい」をお聞かせください。

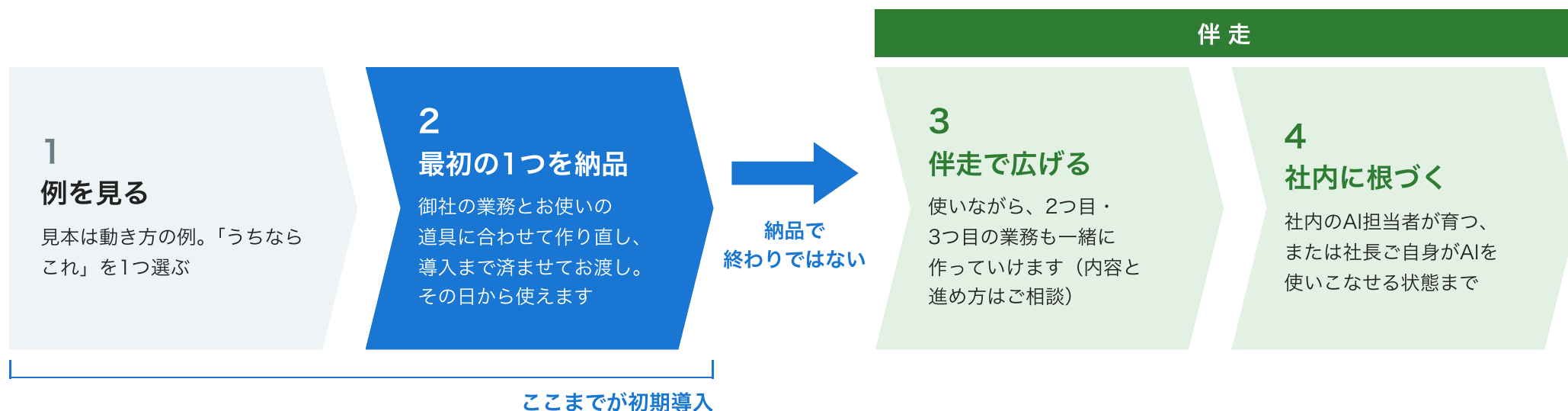
注：右の列は置き換えの例です。実際にどれを使うかは、お話を伺ってから決めます

導入とその先

最初の1つを使える状態で納品し、その先は伴走で一緒に広げていく

最初の1つの納品から社内に根づくまでの4段と、お問い合わせ先

納品までと、その先の伴走



お問い合わせ先

資料のご請求・お問い合わせ

ai-setup@seknack.com

株式会社SeKnAck

注：伴走の内容と進め方は、ご相談のうえ決めます。

出所：株式会社SeKnAck（このページまでの画面と数字は見本の作業場の物。見本の会社・お客様・金額は架空）